



新年度のご挨拶

昨年初頭から世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、変異株による感染がさらに拡大し、「非常事態宣言」が各地で起きている状態です。今まで当然のように、桜の花が咲き乱れる中で、皆が集い楽しんでいた光景が遠い過去のものとなってしまいました。

この1年は患者様・ご家族様を始め、誰もが厳しいものだったと思います。当院では1年のほとんどが面会制限となり、この先もはっきりと見通せない状況ですが、そのなかでも、4月下旬から5月中旬に職員へのワクチン接種が行われ、一縷の希望が見えてきたように思います。

しかし、高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、以前にも増して医療従事者の不足が連日報道される状況が続いています。

医療業界にとって厳しい状況が続くなか、当院では4月に新入職員を迎え、新しい年度が始まりました。新入職員には社会人として第一歩を踏み出す人、異動・転職等による人など様々ですが、小千谷さくら病院の仲間として共に成長出来たらと思っています。

また、コロナ禍の中、単調になりがちな病院内の生活を少しでも笑顔のある楽しいものにしたいと思っています。

今後も、感染予防に努め、安心安全な病院運営を進めて参りますので、ご協力をお願い致します。

事務長 中山 克成



小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

新採用職員の紹介



3病棟に配属されました高野沙永です。看護師として働きだして一ヶ月が経ち、できることが少しずつ増え、学ぶことも沢山あります。

まだわからないことだらけで不安や緊張の毎日ですが、患者様との関わりを大切に、自分が理想とする看護師になれるよう頑張っていきたいです。よろしくお願いします。

【看護師 高野 沙永（たかの さえ）】



特別養護老人ホームおぢやさくらから異動して参りました。配属は1病棟です。新人の頃からお世話になった病院で、また仕事ができる事を嬉しく感じます。4年ぶりの病棟勤務となりますが、気持ちを新たに、一つ一つ丁寧な仕事を心掛けていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

【介護福祉士 浅田 満（あさだ みつる）】



4月より3病棟へ配属となりました、金子翔一郎と申します。

以前は特養で介護の仕事を経験していましたが、病院での仕事は未経験です。趣味はゲームとランニング、コロナ以前はカラオケや温泉によく行っていました。

一日でも早く仕事を覚えてお役に立てるよう努力いたします、よろしくお願いします。

【介護福祉士 金子 翔一郎（かねこ しょういちろう）】



今年2月に入社しました、瀧澤みなみと申します。この度、看護部に所属させていただくことになりました。最初は不安なことがありましたが職場の皆様にご指導をいただきながら、今日まで勤めることができています。一日も早く仕事に対応できる様に努めて参ります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

【看護助手 瀧澤 みなみ（たきざわ みなみ）】



4月中旬より1病棟に勤務しております。出身は群馬県で、結婚を機に魚沼市に引っ越してきました。スノーボードと旅行とバイクが好きです。

民間企業でしか勤務したことがなく、病院勤務は初めてなので、ご迷惑をおかけすることが多いですが、早く仕事に慣れたいと思っています。よろしくお願いします。

【看護クラーク 長谷川 清香（はせがわ さやか）】



今年の4月より事務部で勤務しています。しばらくの間、2人の子供の育児に専念していましたが、この度2年ぶりの仕事復帰です。

病院での勤務経験はありますが、久しぶりなので緊張しています。早く、皆様のお役に立てるよう、仕事を覚えていきたいと思ひます。よろしくお願いします。

【事務員 上村 理恵（かみむら まさえ）】



この度、長岡療育園より異動してまいりました。療育園では人事と給与を担当しておりました。その前は特養おちやさくらにいましたので、小千谷に戻ることに大変懐かしく思います。

海と山が大好きで、遊びまくった結果顔中シミだらけです。週末の宅飲みを楽しみに日々努めているこんな私ですが、以後よろしくお願いいたします。

【事務員 佐藤 恵里子 (さとう えりこ)】

現在の病棟とリハビリの様子について

第1病棟

1病棟では面会制限がある中で、患者様にご家族とのつながりを感じて頂く為、安心レターを作成しました。写真付きの用紙にご家族へのメッセージを書き、好評で返信を頂いた患者様も多くいらっしゃいました。今後も患者様に安心して生活を送って頂けるような取り組みを行っていきたいと思います。



第2病棟

2病棟は50床あり、全介助を必要とする方から一部介助で動くことができる方まで、さまざまな状態の神経難病の患者様が多く入院されています。今年もまだコロナ禍での療養生活が続き、患者様・ご家族には不自由をおかけしています。換気・消毒等々感染対策は素より、患者様にとって安心・安全な療養環境とはどういうことか、基本に立ち返り職員一人ひとり考え行動していきたいと思います。それにより、少しでも皆様の表情が和らぎ、安心して療養生活を送って頂けたらと思っています。

2病棟でも療養中のひとコマを写真にし、メッセージを添えてご家族にお渡ししています。まだの方はもう少しお待ちください。ご家族の力には及びませんが、患者様の笑顔が少しでも引き出せるよう、職員一同頑張ります！

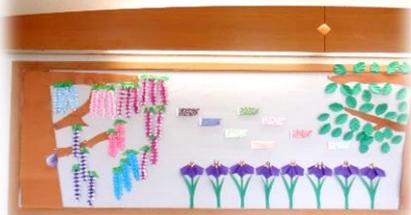


第3病棟

昨年7月から看護長をしています蛭澤と申します。まだまだ未熟ではありますが、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

現在、コロナ禍において患者様や御家族様は寂しく不安な日々を過ごされていると思います。その寂しさを少しでも軽減できるよう、スタッフは日々自分達にできることを考えケアに当たっています。

1日も早く安心した生活が送れるよう願いつつ、感染拡大防止に努めていきたいと思っております。



リハビリテーション室

最近のリハビリテーション室では、患者様への関わりを重視しながら、専門性を更に強化していきけるよう取り組んでいます。理学療法部門では、在宅支援や生活環境の知識を広げ、より患者様に適した生活環境を提供できるよう力を入れています。

作業療法部門では、外部と積極的にやりとりするとともに、多職種と協力し、重症度に関係なく最後まで生き生きと楽しく過ごせるような取り組みを始めています。

言語聴覚部門では「嚥下」に関する知識、技術を向上させ、患者様が食事を安全に取れる環境の一助となり、食べる楽しみを提供できるよう力を入れています。

今後も、患者様を中心としたチーム医療を意識し、数年後にはリハビリも「病院の顔」の1つになれるよう努めていきたいと思っております。



畑作業は患者様が生き生きとする活動のひとつです



食前の嚥下体操



退院を想定した階段昇り降りの練習

編集後記

新年度を迎えましたが、新潟県内のコロナウイルス感染報告が増えてきております。職員一同これまで以上に気を引き締め、皆様様が安心して生活を送ることが出来るよう精進して参りたいと思っております。

さて、今回の広報誌が発刊される頃には夏に差し掛かっていることでしょう。コロナウイルスの感染対策はもちろんですが、この時期は熱中症にも注意が必要です。マスクや冷房の適切な使用、こまめな水分補給を行う等、体調や生活環境を整えてこの夏を過ごしましょう。
(渡辺 記)



社会福祉法人長岡福祉協会
小千谷さくら病院

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地

電話(代表) 0258-83-2680

FAX 0258-83-4416

URL <http://www.sakurahp.com>

E-mail info-01@sakurahp.com

広報委員 中山 克成・和田 一成・永井 恵美子
穴澤 健太・仲丸 葵・渡辺 優也